

平成22年全日本柔道選手権大会東北予選会
平成22年全日本女子柔道選手権大会東北予選会
第61回東北東西対抗柔道大会

【大会実施要項】

1 日 時

大会 平成22年3月7日(日)午前9時00分(選手集合時間:午前8時45分)
審判会議 平成22年3月6日(土)午後4時00分 山形国際ホテル
監督会議 平成22年3月6日(土)午後4時30分 山形国際ホテル
役員懇親会 平成22年3月6日(土)午後6時00分 山形国際ホテル
(山形国際ホテル: ☎023-633-1313 FAX023-626-3318)

2 会 場 山形県体育館 〒990-0826 山形市霞城町1番2号 ☎023-644-5656

3 主 催 東北柔道連盟

4 主 管 山形県柔道連盟 山形市柔道連盟

5 後 援 山形県, 山形県教育委員会, 山形県体育協会, 山形市, 山形市教育委員会
山形市体育協会, 山形県柔道高段者会, 山形県接骨師会, 朝日新聞社, 山形新聞
山形放送, 山形テレビ, テレビユー山形, さくらんぼテレビ

6 参加資格

選手は県内に「居住」「勤務」「在学」しているか何れかの条件を満たすこと。
選手は日本国籍を有し, 全日本柔道連盟に登録していること。
女子選手は, 中学2年生以上とする。

7 実施事項

試合順序

試合は全日本選手権大会東北予選会, 同女子予選会及び東北東西対抗試合の順で行う。

試合方法

ア 全日本柔道選手権大会東北予選会

出場選手は各県代表5名, 合計30名

3ブロックに分けてトーナメント戦を行い, 3名の決勝リーグ戦により,
東北地区代表2名を選考する。

前年度1位及び2位を同一ブロックに入らないようシードする。

イ 全日本女子柔道選手権大会東北予選会

出場選手は各県代表3名, 合計18名

ブロックに分けてトーナメント戦を行い, 3名の決勝リーグ戦により, 東北地区代表2名を選考する。

前年度1位及び2位を同一ブロックに入らないようシードする。

ウ 東北東西対抗柔道大会

選手選考は次のとおりとする。

東軍 岩手県, 宮城県, 福島県

西軍 青森県, 秋田県, 山形県

各県の監督・出場選手は, 次のとおりとする。

監督2名(但し, 男子監督は女子監督を兼ねる事が出来る。)

男子選手 5段以上1名, 4段1名, 3段以下2名, 補欠1名

女子選手 2名, 補欠1名(段位の制限はしない。)

男子・女子選手合計36名, 18組による点取り試合とする。

選手の出場順位は, 女子6名, 男子12名の低段位からとする。

補欠を起用する場合は, 同段位の選手をもって起用する。但し, やむをえず段位の異なる選手を起用する場合は, 選手の持つ段位の最下位者を当てること。

開催県は他県との合意により, 若干選手を多く出場させることが出来る。

対抗試合の勝負は, 勝者数の多い方を勝ちとする。勝者数が同じな場合は, 代表戦を行わず引き分けとする。

試合及び審判

ア 講道館審判規定による。

イ 試合時間

全日本柔道選手権大会東北予選会 5分間

全日本女子柔道選手権大会東北予選会 4分間

東北東西対抗柔道大会 女子3分間, 男子4分間

- ウ 優勢勝ちの判定基準規定第40条の3項を適用し、必ず優劣を決する。
柔道着（背中）にはゼッケンを貼付し、必ず所属名と名前を明示すること。

図1 ゼッケンの位置

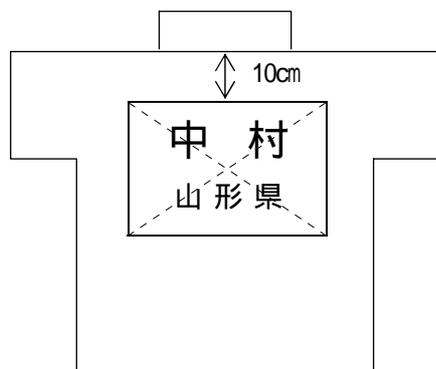
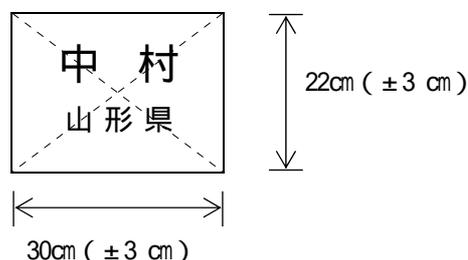


図2 ゼッケンの縫い付け方



注) ゼッケンは強い糸で図示のように縫い付けること。

8 表彰

全日本（男女）柔道選手権大会東北予選会は、第1位から第3位まで賞状と賞品を授与する。
東北東西対抗柔道大会は、優勝チームを表彰する。
優秀選手（若干名）には、賞状と賞品を授与する。

9 事務連絡

各県連盟は、監督・選手名簿（別紙1）を2部作成し、1部を各軍責任者へ、もう1部を大会事務局へそれぞれ、2月8日（月）必着で送付すること。
なお、女子中学生が出場の場合は、参加承諾書（別紙2）を添付すること。

ア 東軍責任者

〒984-0816 仙台市若林区河原町1丁目2番1号 南仙台振興ビル302号
宮城県柔道連盟 会長 佐藤 幸二 ☎ 022-715-1660

イ 西軍責任者

〒010-1633 秋田県新屋島木町1番98号 秋田電話工業株式会社内
秋田県柔道連盟 会長 國安 教善 ☎ 018-828-9002

ウ 大会事務局

〒960-8254 福島市南沢又字上原1番地 職員宿舎E棟107号
山形県柔道連盟事務局長 中村 俊昭
☎・FAX 024-529-5939 携帯 090-1062-9102

オーダー表の交換

両軍責任者は、自軍のオーダー表を2部作成し、1部を相互に交換、1部を大会事務局へ2月10日（水）正午投函（書留速達）すること。

10 組合せ

大会前日『3月6日（土）監督会議の席上において』組合せ抽選を行う。
（前年度1位及び2位の選手は、同じブロックに入らないよう優先して抽選する。）

11 審判員報告

各県連盟は、審判員2名を派遣すること。
審判員を同推薦名簿（別紙3）に記載の上、2月8日（月）必着で大会事務局へ提出のこと。
なお、開催県は更に4名の審判員を派遣するものとする。

12 経費関係

東北柔道連盟役員については東北柔道連盟が負担する。各県推薦審判員（1名）の旅費・宿泊費（1泊分）は東北柔道連盟が負担し、他の1名の旅費・宿泊費（1泊分）は主管者の負担とする。
なお、宿泊費は本人が直接宿泊所に支払うものとする。
監督及び選手の寮費・宿泊費等は各県負担とする。

13 その他

役員・選手団の宿泊所及び日程表は別紙のとおりです。